



日本プライマリ・ケア連合学会
中部ブロック支部



発行人：佐藤 寿一
事務局 〒466-8560 名古屋市昭和区鶴舞町 65
名古屋大学大学院医学系研究科健康社会医学専攻
総合診療医学 内
Tel. 052-744-2951 Fax. 052-744-2951
E-mail: juichi@med.nagoya-u.ac.jp

ニュースレター No.37(2022.3) 本号の編集担当者 井上真智子

【支部情報】

予定

1) 『総合診療専攻医オリエンテーション』

2022年5月21日(土) ZOOMによるオンライン開催

2) 『第11回日本プライマリ・ケア連合学会中部ブロック学術集会』

2022年11月13日(日) 開催地: 富山県

3) 『中部ブロック支部ポータルフォーリオ発表会 2023』

2023年3月4日(土) 名古屋大学医学部鶴友会館またはオンライン開催

●静岡県支部活動報告

【報告】

1) 屋根瓦塾 in Shizuoka(主管: 静岡県医師会)

日時: 2月11日(金)13時~17時

2016年より静岡県医師会主管で開催された初期研修医対象のハンズオンセミナー『屋根瓦塾 in Shizuoka』で、今年はオンラインにて開催いたしました。ワークショップではプライマリ・ケア領域における現在の重要なトピックスである、「臨床推論」「意思決定支援」「医療者のウェルネス」の3つをとりあげました。初期研修医の先生がご参加くださり、和やかな雰囲気の中活発に意見交換でき、とても盛り上がったワークショップとなりました。

2) 静岡家庭医養成プログラム プライマリ・ケア研究 オンラインワークショップ

日時: 2月19日(土)9時~12時

ミシガン大学マイク D. フェターズ先生、ラットガース大学ベンジャミン・クラブトリー先生を講師として、質的研究に興味のある初学者を対象に、「効果的な”In-depth interview”を行うには(”How to conduct in-depth interviews”）」をテーマに取り上げたプライマリ・ケア研究ワークショップを行いました。このワークショップでは、①深層面接法に適したリサーチクエスションの見極め方を学ぶこと、②深層面接法を用いた研究実施のための4つのステージの理解すること、③インタビューガイドを作成しインタビューの練習を行う、というこれら3点の実践ができることを目指しました。参加者のみさんは、実際にそれぞれの研究テーマの即したワークに取り組み、実践に活かせる有意義なワークショップとなりました。皆さん意欲的に取り組まれていたことから、インタビューガイドの作成とインタビューの練習については急遽今後追加でのワークショップも企画されることとなりました！

【予定】

1) 『第9回静岡プライマリ・ケアフォーラム』

静岡県支部では、下記の内容で第9回静岡プライマリ・ケアフォーラムを開催いたします。今回は、「with コロナ時代を迎えたプライマリ・ケア」をテーマとして、コロナ禍の中で成田検疫所長として陣頭指揮をとっておられた田中一成先生と、静岡県の新型コロナウイルス対策専門家会議の座長でいらっしゃる倉井華子先生に御講演いただきます。

日時:2022年3月19日(土) 13:30-17:00

場所:静岡市静岡医師会館 3階講堂

開催方法:新型コロナウイルスの流行状況によっては、オンライン開催となりました

テーマ:『with コロナ時代を迎えたプライマリ・ケア』

プログラム概要:

一般演題

1. COVID-19 流行期間における発熱患者の検査および診断について 岡田暁生(伊東市民病院)他
2. 高齢者施設における COVID-19 感染対策の現状と課題 浅田彩乃(静岡県立総合病院救急科)他
3. 『やさしい日本語』を用いた診療所看護職の外国人患者に対するコミュニケーションスキルの促進と外国人向けリーフレット制作における COVID-19 感染症啓発の活動展開 青木慶子(浜松医科大学健康社会医学講座)他
4. ステロイドが悪性胸水の減少に寄与して在宅看取りが可能になったと考えられる 50 代卵巣癌患者の一例 松永 拓(森町家庭医療クリニック)他

特別講演

1. 新型コロナ感染症と地域包括ケアシステム 田中一成(静岡市保健所)
2. COVID-19 と感染症診療-もう一度原点に立ち戻ろう-倉井華子(静岡県立静岡がんセンター感染症内科)

参加登録:下記受付フォームから Web 参加 2021.12/6~2022.2/28、会場参加 2021.12/6~2022.3/16

<http://www.shizuoka-pho.jp/sogo/data/form/index/20220309>

2) 静岡家庭医養成プログラム主催、医学生・初期研修医向けプチ勉強会

:『はじめての主治医、モヤッと事例のみかた～家庭医と考えてみよう～』

家庭医療(総合診療)専攻医が事例を提示し、それに対して皆さんならどうする!?をテーマにグループディスカッションしながら学びを深めます。専攻医による省察や解説もあり、“モヤッと”事例に対する家庭医の考え方・向き合い方や家庭医療学の理論を実践的に学ぶことができます。家庭医・総合診療医って聞いたことあるけどどんなことしているの?という方、ぜひご参加ください。

日時:3月12日(土)19:00~20:00 ※勉強会終了後、希望者には進路相談・懇親会を行います。

参加対象者:医学生・初期研修医

参加費:無料

募集人数:12名

開催方法:Zoom(後日、申し込み時に登録いただいたメールアドレスに参加用 URL をお送りします)

申し込み方法 URL:<https://forms.gle/RNbVMnShHTzBBKZ48>

申し込み期限:3月10日(木)17時まで

※募集人数に達し次第、申し込みを締め切らせていただきます

●石川県支部活動報告

【報告】

この期間の活動はありません。

【予定】

能登地域総合診療強化研究会 令和3年度クリニカルラウンド オンライン講演会

テーマ: 訪問診療の適応事例を考える-奥能登ごちゃまるクリニックの場合-

講師: 医療法人社団オレンジ 奥能登ごちゃまるクリニック 小浦 友行 先生

日時: 令和4年3月4日(金)19:00 から 20:00(予定)

方法: Zoomによるオンライン開催

●岐阜県

【報告】

1)『第4回日本プライマリ・ケア連合学会岐阜県支部会』

日時: 2022年2月19日(土)14:00~15:15

場所: Web開催(Zoom)

講演: 藤田医科大学連携地域医療学 豊田地域医療センター副院長 大杉泰弘先生

「総合診療と中小病院再生の物語」

参加: 医師 21名

内容: 経営破綻しかかっていた豊田地域医療センターに着任され、短期間で現在のように多数の総合診療専攻医が集まるセンターとなるまでのサクセスストーリーを、実際の工夫、改革ポイントや方法を含めて詳細に教えていただきました。多数の医師から質問があり、盛況に終わることができました。

2)『岐阜総合診療漢方セミナー』

日時: 2022年2月14日(月)19:00~20:00

場所: Web開催(Zoom)

講演: 岡山大学学術研究院四肢薬学域 総合内科学 教授 大塚文男先生

「当院総合内科・総合診療科におけるコロナ後遺症の諸症状への対応」

参加: 医師 60名

内容: 治療エビデンスが確立していないCOVID-19の後遺症診療ですが、2021年2月15日に岡山大学附属病院でコロナアフターケア外来を開設されています。これまで218症例を経験され、その臨床的な特徴や対応について、具体的に講演していただきました。

【予定】

1)『第2回在宅診療で役立つ超音波検査ハンズオンセミナー(腹部)』

日時: 2022年3月19日(土)13:00~15:40

場所: 総合在宅医療クリニック

内容: 全3回の超音波検査ハンズオンセミナーの第2回。

2)『第37回岐阜プライマリ・ケアカンファレンス』

日時: 2022年3月4日(金)18:30~20:30

場所: じゅうろくプラザ・Teamsのハイブリッド

内容: 1)ミニレクチャー 岐阜赤十字病院甲状腺・糖尿病内科 副部長 川地慎一先生

「患者さんの視点、医師の視点」

2)症例ディスカッション 2例

3) 特別講演 岐阜大学医学部附属病院腎臓内科 内藤順子先生

「日常診療で遭遇する腎疾患への対応」

●三重県支部活動報告

【報告】

1) 総合診療 虎の穴 巻之十二 開催

「身体診察は困ったときに助かるので、しっかりと学んでみましょう」

日時: 2021年12月16日(木) 19:00~20:30

会場: Zoomによるオンラインセミナー

演者: 内堀善有(名張市立病院)、二宮隆仁(名張市立病院/三重大学総合診療専門研修プログラム)

2) 総合診療 虎の穴 巻之十三 開催

「マルモ診療への招待」

日時: 2022年2月19日(土) 14:00~16:30

会場: Zoomによるオンラインセミナー

演者: 大浦誠(南砺市民病院)、谷崎隆太郎(市立伊勢総合病院)

3) 三重大学総合診療プログラム ポートフォリオ発表会 開催

日時: 2022年2月27日(日) 9:30~12:00

会場: Zoomのブレイクアウトルームを用いてオンラインでの開催

専攻医が主催し、指導医群に3つのポートフォリオを添削していただく会は、大変ですがとても勉強になります。前回同様準備がギリギリになってしまったので、次こそはコツコツと書き上げようと反省する会でもあります。(運営担当専攻医)

4) 第2回 総合診療 虎の穴・外伝 開催

「さまざまな医学生・研修医を支援する～臨床実習での自己調整学習～」

日時: 2022年3月2日(水) 17:30~18:30

会場: Zoomによるオンラインセミナー

演者: 近藤諭(東京大学大学院医学教育国際研究センター医学教育学部門 博士課程/三重大学医学部 非常勤講師)

【予定】

1) 三重大学総合診療医養成事業 フォーラム「地域で活躍する総合診療医を育てる」開催予定

日時: 2022年3月21日(月・祝) 13:00~16:30 (※オンライン開催)

対象: 総合診療医養成(卒前、卒後)に関わる指導医・教職員
プログラム

講演1 高村昭照(富山大学)「地域基盤型医療者教育～理論と実践～」

講演2 白石吉彦(島根大学/隠岐島前病院)

「しまね総合診療センター～virtual office 構築とNeural GP Network～」

講演3 若林英樹(三重大学)「Mie GP 12 の第一歩と今後の展望」

講評 藤沼康樹(医療福祉生協連 家庭医療学開発センター)

総合討論

お申込み: <https://forms.gle/A8zom3rsxbe8LsoYA> 締切り:3月17日(木)

※本フォーラムでは、主に指導医、教員を対象に、地域で活躍する総合診療医養成について、取り組み例(地域での保健活動への参加、長期臨床実習(LIC)など)、セオリー、研究成果等に学び、日本版地域基盤型カリキュラムについて、広域エリアでのつながり、相互支援も視野に入れて議論をしたいと思います。

●富山県支部活動報告

【報告】

〇とむじぇり勉強会

日程:毎月第2月曜日 Zoomでの開催

専攻医によるポートフォリオの領域に関するレクチャーと、ポートフォリオ発表の2部構成。司会進行などの運營業務も各専攻医が順番に担当し、協力しあって運営しています。8月度からは「タネ症例の部屋」という、PFになりそうな経験を自由に討論できる場も提供しています。

<1月>

1月11日に今年初めてのPF勉強会がありました。

領域レクチャーは総合診療専門医になったばかりの福田先生による「統合されたケア」でした。統合にも種類があるので、その違いを知らながら意識的に行動できると良いな、と思います。病院にいても、診療所にいても、必要な知識です。

PF発表は並河先生のアドボカシーとアクセスに関するPF、森越先生による男性、女性、性の多様性のケアに関するPFでした。よりよい活動にするための工夫や、PFを書く視点での指導もあり、充実した時間でした。武島、渡辺先生によるタネ事例の検討も良かったですね。

統合されたケア integrated care

とむじぇり勉強会

2022/1/11 20時

福田 晋平

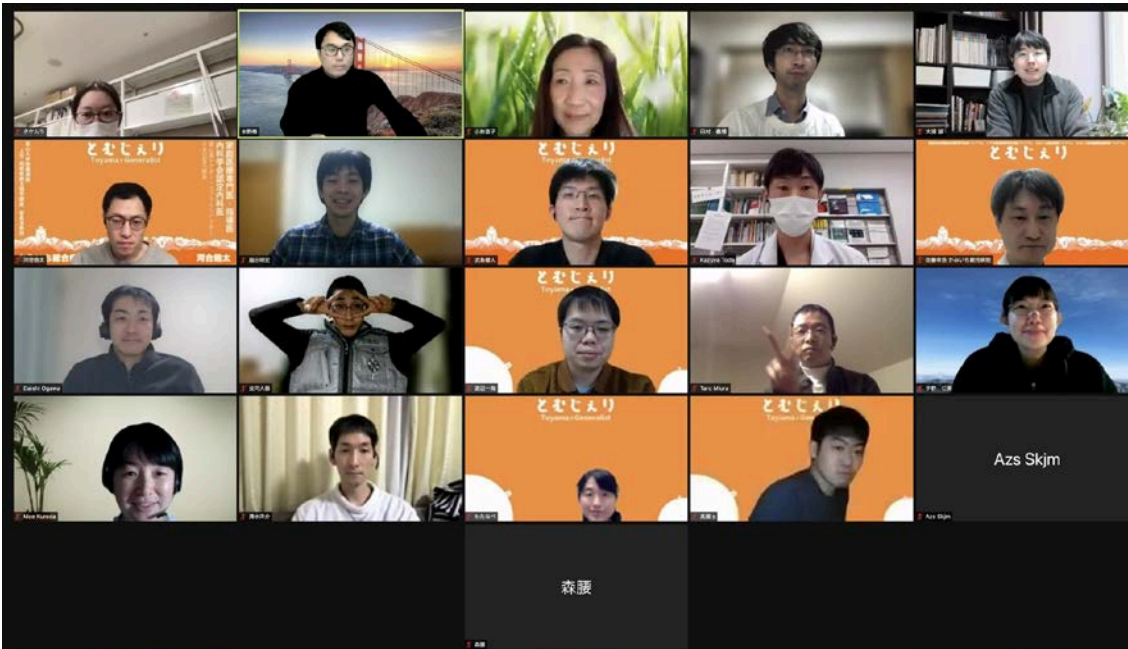
<2月>

2月14日にPF勉強会が行われました。今回は飛騨市民の佐藤先生による「プロフェッショナリズム」のレクチャーでした。

事例の紹介も含めて分かりやすく話されており、臨床でしばしば経験するジレンマへの対処なども説明されていまし

た。

後半の PF 検討では竹村先生と宇野先生がリハビリテーションと患者中心の医療について発表してくれました。



○臨床研究に関するオンライン勉強会

今年度よりプログラムの専攻医・若手指導医対象のオンライン臨床研究勉強会が始動しました！

第4回目が2021年12月16日に開催されました！

1～3回目までの勉強会では、プライマリ・ケア領域での研究ってどんなものなの？について横浜市立大学の金子惇先生にご講義いただき、主に知識面から学ぶことができました。

後半となる今回と次回では、それをどうやって富山で研究に落とし込んでいくか？をテーマにしていきます。

まず、大学の北啓一朗先生による研究計画書とは？講座にて、計画書の内容のご提示から、体系的に計画書を書くことでのメリット、また富山県内でお互いが離れて診療する先生も多い中、共同研究を行う際の計画書のお作法など、富山ならではのポイントを教えていただきました。

研究計画書発表会では、指導医の小川太志先生、渡辺一海先生より、現在構想を練っておられる研究アイデアをご提示いただきました。日常のどんな場面から出た臨床疑問だったのか、今どこで悩んでおられるかなどもお話下さり、その後の Google ドキュメントを活用した質疑応答時間では、活発な意見が飛び交いました。

第5回目が2022年2月17日に開催されました！

1～3回目までの勉強会では、プライマリ・ケア領域での研究ってどんなものなの？について横浜市立大学の金子惇先生にご講義いただき、主に知識面から学ぶことができました。

後半戦として、前回からは、それをどうやって富山で研究に落とし込んでいくか？をテーマにしています。

今回も指導医の小川太志先生、渡辺一海先生にご発表いただきました。前回はアイデア段階に近い形を共有いただき、みんなでコメントを出し合いました。今回はさらに「研究計画書」の完成版に近い形を共有いただき、コメントを受けてどのように変わったか、さらに意見をもらいたい点などを話し合う形となりました。大学の北先生、社会調査がご専門の黒岩祥太先生に加え、今回は金子惇先生が再びご登壇くださり、リサーチクエスションの言語化から、デザイン、分析手法についてもみんなで深めることができました。

このような機会を積み重ねていくことで、専攻医の先生に、研究が身近なものになっていけば、と思います！

とやま総合診療プログラムでは、今後も、大学のリサーチ・ミーティングや

各サイトと連携しながら、臨床研究について学べる場を提供していきたいと思えます。また次回のご報告もお楽しみにお待ちしております！

<支部運営についての情報>

● 各県の代表窓口は下記の方々です

三重県；宮崎景、富山県；山城清二、石川県；吉岡哲也、岐阜県；森田浩之、愛知県；佐藤寿一、福井県；林寛之、静岡県；井上真智子

● プログラム責任者の会中部ブロック代表；大杉泰弘（藤田保健衛生大学総合診療・家庭医療プログラム）

● 中部ブロックの活動に関するご意見等ありましたら下記までご連絡ください。

木村 悦子（中部ブロック支部事務局） e-kimura@med.nagoya-u.ac.jp